

1. 学校評価総括

建学の理念	「心身ともに健康で、使命感を持つ、誠実な人間を育成する」	
教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明朗で知性溢れる人の育成 2. 不屈の精神をもって、使命を全うする人の育成 3. 自己を確立しつつ、社会性豊かな人の育成 4. この世に生をうけた幸福を知る人の育成 	
これまでの成果と課題	<p>中学部では、1、2年で基礎学力の習得、3年で高校内容の導入段階の学習とキャリア教育を行った。高1ではキャリア教育のまとめと進路決定を意識した指導を行った。高2では理系文系に分かれた授業を行い、各自の進路希望に寄り添う指導を心がけた。さらに、高3では、文系理系それぞれの英語と数学で、目指す大学のレベルにリンクした習熟度別の$\alpha$$\beta$$\gamma$3段階の授業を展開し、各自の受験に寄り添った指導を行った。結果は、上位層に顕著で難関大学の合格実績が伸びた。また、今年度から授業時間を60分に変更し、科目の種類を増やすとともに自主演習を行う時間を設け、自立的学習態度の確立を組織的に行うことにした。本校の生徒は、素直で与えられた課題はある程度はこなす者も多いが、苦手分野の克服や発展的な学習に対し自主性の乏しい者も見受けられる。そのため、学業面でも生活面でも、一度躓くと自信を失いがちになるので、1人1人の生徒に合わせた細やかな指導が必要である。加えて、新入試で求められる学力「主体性・多様性・協働性」を涵養するためにも、今回の改革は重要なものであり、来年度はさらなる発展を考えている。</p>	
	具体的目標	総合評価
国際人を育てる教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 留学制度の充実 2. 進路指導の充実 3. 学力をつける授業の充実 4. 国際交流制度の充実 5. 卒業生・在校生の満足度向上 6. 施設・設備の充実 	<p>生徒の学業面では、授業を受ける姿勢は向上したが、受け身の雰囲気はまだ残る。自主演習などでも、計画的に60分を使う生徒は増えてきたが、無計画にただ課題をやっているだけの者もいる。家庭学習の問題点が垣間見られ、学習内容以前に自分にとって何が必要かを考えさせる指導を行わねばならない。生活面においては、カウンセラーと協働で、自主性の回復を旨とする指導を行っている。社会人になっても通用するように「ルールの存在」を崩さず「辛さにも向き合い生きていくにはどんな力をつければよいのか」を自ら考えるためのサポートをする指導姿勢である。そのため、即時の効果を期待する生徒や保護者の方には目に見える成果が伝わりにくい場合もあるかもしれないが、自主性を身につけることこそが、学業面でも生活面でも、生徒を育てる最重要課題であると考えている。ただ、生徒だけでなく教師の自主性についても一考が必要で、力のある教師は現場で学べるが、受け身姿勢の者には「研修」も必要である。当面は、授業を大切にしていけることを第一としながらも、「働き方（労働時間問題）」と「研修・会議」を如何に両立させるかを考えなくてはならない。私学にとって、喫緊の課題である。</p>
入学志願者・入学者の安定確保	<ol style="list-style-type: none"> 1. 六年一貫教育の充実のための内部進学生支援の充実 2. 外部児童・生徒募集の充実 	
教育の意識改革・行動改革の実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科会議の充実 2. 教員組織の改革 3. 学校評価の導入 4. 教員評価制度の導入と研修の充実 	